

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
Q303	ホテルマネジメント論	3年	講義	2	山田祐子
授業概要 本講座は、主にホテルや旅館をはじめとする宿泊ビジネスを就職先として考えている学生を対象としますが、学修意欲があり観光産業に興味がある方であれば歓迎します。学修目標は、「宿泊ビジネスの構造を理解し、課題を見出す力を養うこと」です。授業は、最新の事例を取り扱う講義にくわえ、ワークシートを考えながら記入し、授業終了時に提出することを課します。また、授業外学修として、自身が興味のある企業の「事業分析レポート」を全員に行っていただきますので、経営管理への関心が求められます。					
到達目標(学習の成果) 1. 最新の事例を通じて、ホテルをはじめ宿泊ビジネスの現状や課題が理解できるようになります。(DP2) 2. 宿泊ビジネスへの就職希望者に求められる基礎的な知識を習得することができます。(DP2) 3. 授業の一環で行っていただく事業分析レポートにおいて、ビジネスの構造を理解し、課題を見出す力を養うことができます。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	宿泊ビジネスの誕生と系譜	観光産業における宿泊ビジネスの役割を学びます。			
2	世界のホテル、日本のホテル、日本の旅館	国内外のホテルの歴史、日本の旅館の歴史を学びます。			
3	宿泊ビジネスの種類	宿泊ビジネスの分類と業態を学びます。			
4	宿泊ビジネスの目的	宿泊ビジネスの企業理念や経営方針を学びます。			
5	宿泊ビジネスの形態	宿泊施設の経営や運営方式を学びます。			
6	宿泊ビジネスの業務	部門別(宿泊、飲食・宴会・婚礼、営業、企画、等)の業務について学びます。			
7	宿泊ビジネスの構造①	貸借対照表と損益計算書の読み方を学びます。			
8	宿泊ビジネスの構造②	マーケティングと収益管理について学びます。			
9	宿泊ビジネスの構造③	レベニューマネジメントについて学びます。			
10	ケース・スタディ①	企業の事例から、経営、組織、運営、顧客の分野における管理方法を学びます。			
11	ケース・スタディ②	企業の事例から、人材、情報の分野における管理方法を学びます。 ※第13回目の授業までに課題レポートを提出していただきます。			
12	宿泊ビジネスの課題	これまでの授業のふりかえりを行い、宿泊ビジネスの課題について考えます。			
13	ゲスト講師(予定)	ホテル業の関係者を予定しています。			
14	ゲスト講師(予定)	旅館業の関係者を予定しています。			
15	宿泊ビジネスの未来と可能性	課題レポートの講評を行いながら授業全体のふりかえりを行い、ホテルや宿泊ビジネスの未来と可能性を考えます。			

準備学修(授業外の自己学修)

前週に翌週の受講に必要な情報収集や資料収集の内容を連絡するので、準備して授業に臨んでください。
また、授業の最初に「前週のポイント」を質問するので復習しておいてください。

成績評価の方法・基準(%表記)

1. 毎回のワークシート 70%
2. 課題レポート 20%
3. 授業態度 10%

観点	S	A	B	C
宿泊ビジネスの理解と課題 抽出力	完全に（理解できている等）	ほぼ完全に（理解できている等）	十分に（理解できている等）	一定程度（理解できている等）
宿泊ビジネスの課題に対する 解決力	完全に（理解できている等）	完全に（理解できている等）	十分に（理解できている等）	一定程度（理解できている等）

教科書

特になし。毎回テーマに応じたプリントを配布、パワーポイントにて資料、画像、動画を映写します。

参考書等

週刊ホテルレストラン、月刊ホテル旅館、ホテル業界就職ガイド、等、最新の業界紙を参照。
会社四季報、会社四季報業界地図

履修上の注意・学修支援

インターネット・新聞・雑誌・書籍等を通して、社会や観光産業の動向に強い関心を持って臨むことを条件とします。